

熊本県立あしきた青少年の家 指定管理者 平成30年度 管理運営評価票

所管部課:教育庁教育総務局社会教育課

**I 施設の管理概要**

指定管理者名	ひとつくりくまもとネット・三勢共同体
指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
施設概要	<p>① 所在:葦北郡芦北町鶴木山</p> <p>② 施設:宿泊棟(和室・洋室)、大・中・小研修室、体育館、文化ホール、キャンプ場等</p> <p>③ 目的:本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を活かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。</p>
指定管理料	300,154,000 円(4施設合計、利用料金制)

**II 管理運営の評価**

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	73,273 人	76,555 人	前年度実績 76,633 人
研修活動中の事故の有無	0 件	0 件	軽傷を除く

【点検・調査結果及び評価】

高校関係の利用者の減少はあったものの、広報活動の成果もあり、出前講座の利用が大幅に増加し、目標値を大きく上回る利用者数を確保したことは評価できる。

県では、特に施設における利用者の安全確保を重視し、指定管理者への指導を徹底しており、期間中の事故発生は0であった。研修や安全マニュアル整備・更新等を通じた、安全確保の取組を期待する。

## 2 管理業務実施状況

### ① 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年	
保安・警備	宿直業務	通年	
	ボイラー運転監視	通年	
保守点検	電気設備保守点検	年12回	専門業者に委託
	エレベーター設備点検	年12回	同上
	空調設備点検	年4回	同上
	ヒートポンプチラーユニット点検	年2回	同上
	吸収式冷温水機点検	年2回	同上
	監視カメラ保守点検	月1回	同上
	浄化槽保守点検	年24回	同上
	浄化槽清掃	年1回	同上
	自家発電設備点検	年2回	同上
	消防設備保守点検	年2回	同上
	防火対象物点検	年1回	同上
	衛生設備点検(温水ヒーター)	年2回	同上
	衛生設備点検(その他)	年3回	同上
	自動ドア保守点検	年3回	同上
	移動式観覧席点検・整備	年1回	同上
	貯水槽保守点検	年12回	同上
	貯水槽清掃	年1回	同上
	貯湯タンク洗浄点検	年1回	同上
	濾過循環系配管内清掃	年1回	同上
	害虫駆除	年2回	同上
	厨房ダクト清掃	年1回	同上
	ボイラー排ガス測定	年1回	同上
	排煙ファン法定点検	年1回	
	水質検査(残留塩素)	週1回	
	水質検査(簡易水道)	年1回	専門業者に委託
	水質検査(浴槽)	年1回	同上
	浄化槽法定点検	年1回	同上
	地下タンク点検	週1回	同上
	地下タンク保守点検	年1回	同上
	空気環境測定	年6回	
建築設備定期点検	年1回		

**【点検・調査結果及び評価】**

施設設備の清掃、保安・警備および点検等については仕様書どおり実施、頻度・内容ともに水準を満たしており、良好に管理されている。

## ② 運営事業実績

### 〔主な事業・イベント〕

事業・イベント名	開催時期	参加者数	趣旨・内容
サラダたまねぎ収穫祭	5/12	29人	サラダたまねぎの収穫体験をとおして、環境を考 えるとともに日常の食生活への関心を高める。
あしきた未来スクール(全10回)	5～2月	155人	地域の子供たちに年間を通じて体験活動の機会 を提供し、コミュニケーション能力、自立心、協調 性等の能力を育む。
シーサミットあしきた	7/15	52人	海辺の活動の正しい知識、危険への対処法を身 につけ、海の美しさ、楽しさを体感し、自然を慈し む心を育てる。
～暑い夏に思い出づくり～Sea サマーキ ャンプ	7/23,24	49人	熊本地震の被害が大きかった地域の子供たちを 対象に、海の体験活動を提供し、心身リフレッシュ を図るとともに、仲間との絆を深める機会とする。
第7回あしきたフォトコンテスト～エンジ ョあしきた・ここがスキ！～	7～3月	123人	青少年の家の風景、活動の様子や芦北町を撮影 した写真を広く募集し、芦北町における体験活動 の素晴らしさの周知を図る。
地引網体験	8/18	121人	地引網の楽しさ、大変さを体験しながら、海の豊か さを実感するとともに、環境を大切にする心を育 む。
秋の自然体験教室	11/10,11	16人	野鳥や海岸特有の植物の観察、落ち葉や木の実 を用いた創作活動をとおして、自然と親しみ自然 を大切にする心を育む。
小学生英語体験教室 A・B・Sea	1/19,20	39人	自然体験を通して英語に慣れ親しみ、異学年や他 校児童とふれあうことで、積極的に人とかかわる 態度を育てる。
春の自然体験教室	3/2,3	30人	星空や里山の良さに触れ、自然環境を大切にする 心を育み、今後の環境保全活動参画のきっかけ づくりとする。
うたせの丘杯 グラウンドゴルフ大会	3/9	148人	参加者同士の交流を深めるとともに、身近な施設 として青少年の家を理解いただき、施設と地域の 連携を深める。

### 【点検・調査結果及び評価】

環境センター、海上保安庁、芦北町との連携が図られており、関係機関との協力体制が構築されていることは高く評価できる。また、海型の施設として、施設の特色を生かした様々な体験活動の機会が提供されている。今後は、既存の企画事業の教育的効果を検証するとともに、関係機関との連携をさらに深め、地域に根ざした新規事業や新プログラムを考案し、体験活動のさらなる普及・啓発及び利用促進につなげていただきたい。

### 3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	347 日	347 日	100.0%
	宿泊可能日数	333 日	333 日	100.0%
	利用日数	311 日	284 日	109.5%
	利用率	89.6%	81.8%	109.5%
	利用者実数	31,595 人	30,310	104.2%
	利用者延べ数	69,550 人	70,955	98.0%
キャンプ場	開館日数	347 日	347 日	100.0%
	宿泊可能日数	333 日	333 日	100.0%
	利用日数	58 日	62 日	93.5%
	利用率	16.7%	17.9%	93.5%
	利用者実数	1,011 人	1,268 人	79.7%
	利用者延べ数	1,800 人	2,307 人	78.0%
出前講座等	利用者実数	5,205 人	3,371 人	154.4%
<p><b>【点検・調査結果及び評価】</b></p> <p>高校関係の利用者の減少に伴い、キャンプ場の利用者減少はあったものの、県南地域小学校の運動部活動の社会体育移行に係る出前講座の利用が大幅に増加している。</p> <p>また、これまでの広報活動の成果として、閑散期における大学や企業等の利用者の増加が見られ、施設の利用促進の取組として高く評価したい。</p>				

#### 4 管理経費の収支状況

① 収入			
項目	内訳	金額(円)	
利用料金収入	本館	一般 7,397 人、高校生以下 29,718 人、就学前の者 460 人	20,247,110
	キャンプ場	一般 438 人、高校生以下 631 人、就学前の者 41 人	198,880
	宿泊を伴わない利用	一般 861 人、高校生以下 517 人、就学前の者 64 人	155,000
	文化ホール	161 時間	247,940
	マリン活動船艇	16,957 人	847,850
指定管理料	指定管理者による本施設への振り分け	105,494,000	
企画事業等収入	14 事業	1,129,950	
その他活動収入	出前講座 93 団体	438,910	
プログラム活動料金		750,640	
食事代		73,129,570	
シーツ等クリーニング代		3,995,400	
雑収入		502,894	
合計		207,138,144	
	収入未済額	0	
	うち利用料金収入分	—	

② 支出		
項目	内訳	金額(円)
人件費		70,270,397
運営管理費	旅費、管理費、活動プログラム費等	4,302,371
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費	107,440,185
企画事業費		1,051,676
合計		183,064,629

#### 【点検・調査結果及び評価】

利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて修繕を含む施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。

## 5 利用者調査結果

調査実施 内容	調査年月日	平成30年4月1日～平成31年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	440 団体											
調査結果	調査分野	回答内容											
		非常によい		よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	334	75.9	94	21.4	9	2.0	0	0	1	0.2	2	0.5
	活動内容	261	59.3	82	18.6	18	4.1	1	0.2	0	0	78	17.7
	職員の受入れ対応	337	76.6	86	19.5	13	3.0	2	0.5	0	0	2	0.5
	職員の指導・助言	346	78.6	73	16.6	17	3.9	1	0.2	0	0	3	0.7
	食堂スタッフの対応	292	66.4	93	21.1	26	5.9	1	0.2	0	0	28	6.4
	食事の質	217	49.3	120	27.3	66	15.0	12	2.7	0	0	25	5.7
	食事の量	239	54.3	125	28.4	46	10.5	5	1.1	0	0	25	5.7
	屋内の施設・環境	220	50.0	137	31.1	57	13.0	10	2.3	2	0.5	14	3.2
	屋外の施設・環境	272	61.8	121	27.5	26	5.9	3	0.7	1	0.2	17	3.9
	また利用したいか	ぜひ				機会があれば				利用しない		無回答	
		299	68.0			101	23.0			0	0	40	9.1
利用者からの意見等													
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>アンケート結果から、全般的に利用者の満足度は高い結果となっているが、前年度と比較して「非常によい」の評価が多くの項目で低下している。要因を確認の上、さらなるサービスレベルの向上に向け、意識徹底を図っていただきたい。</p> <p>食堂関連の項目については評価の改善が見られ、「食事の質」「食事の量」とともに評価が向上している。食堂サービスのクオリティー向上について、今後も取組を継続いただきたい。</p>													

## 6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
衣装合わせの部屋が活動場所から遠く奥まった場所にあるため、付き添いや監督が行いにくい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣装合わせの部屋を活動場所と同じ階の近くの部屋に移している。</li> <li>・団体の指導者に必ず付き添ってもらうことを事前説明で確認している。</li> </ul>
食事への異物混入があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂業務職員に向けた異物混入時の対応研修を実施している。</li> <li>・食堂業務における異物混入時の対応マニュアルを作成し、厨房に掲示している。</li> </ul>
<p><b>【点検・調査結果及び評価】</b></p> <p>意見・苦情等には速やかに改善に着手している。</p> <p>食事への対応については異物混入のみならず、食中毒、アレルギーへの対応についても、これまでの研修に加え、問題が生じたことを想定した、より実践的な研修等に取り組み、安全な食事の提供に努めていただきたい。</p>	

## 7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
アンケートの「非常によい」の評価低下について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズに応じた活動の場・用具・支援を提供するために、利用団体からの要望や意見について、職員間の情報の共有化を図る。</li> </ul>
アンケートの食堂サービスに関わる項目の評価低下について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂スタッフによる外部視察を行い、他施設との意見交換等を行うことで職員の意識改革を図っている。</li> </ul>
<p><b>【点検・調査結果及び評価】</b></p> <p>予算の制約がある中、食堂サービスに関する取組を実施し、利用者アンケートの結果が向上している点は評価できる。利用団体の要望や意見に対して、丁寧に対応するための改善活動についても継続し、利用者の評価向上に努めていただきたい。</p>	

## 8 その他

<p>アンケートの自由記述欄にも現場・共同体事務局スタッフ全員が目を通し、利用者のニーズを汲み取り、サービスレベルの向上を図っていただきたい。</p>
---